

英語 (English)

発信型英語 (Communicative English)

(工 ((建 A - 2) 2 年))

宮田 政徳 准教授 / 大学開放実践センター

2 単位 後期 火 1・2

(平成 19 年度以前の授業科目: 『発信型英語』) (平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前) の授業科目: 『英語 (2)』)

【授業の目的】 語学研修や観光旅行でイギリス, アメリカ, カナダなどの英語圏を訪れる際, 現地の日常生活の色々な場面で使われる表現を適切な英語を用いて表現できるようになることを目的とする。

【授業の概要】 アメリカやカナダで放送された ESL (English as a Second language) 番組から精選された 15 のスキットをビデオで観る。それから先ずリスニングの練習をし, その後各スキットの場面で使われている重要表現を確認する。最後に友達同士 3, 4 人でそのスキットをロールプレイして英語で演じる。

【キーワード】 日常会話英語, ロールプレイによるスキット

【先行科目】 [先行科目]

【関連科目】 [関連科目]

【到達目標】

1. 英語のテレビ放送のスキットの内容を聴き取ることが出来る。
2. スキットの会話の中の重要表現を覚える。
3. スキットを友達とロールプレイして演じることができる。

【授業の計画】

1. Introduction
2. Lesson 1: Greetings
3. Lesson 2: Asking for Directions
4. Lesson 3: Requesting Information
5. Lesson 4: Making Things Clear
6. Lesson 5: Explaining What's Wrong
7. Lesson 6: Going for a Job Interview
8. Lesson 7: Making a Phone Call
9. Lesson 8: Reporting Emergencies (1)
10. Lesson 9: Reporting Emergencies (2)
11. Lesson 10: Getting Invited to a Party
12. Lesson 11: Making Complaints
13. Lesson 12: Asking a Favor
14. Lesson 13: Comparing Things
15. 期末試験

16. 期末試験の振り返り

【教科書】 日常英語; 小野田榮とノエル・ゴスマン著 (金星堂, 2001 年, 2200 円)

【参考書等】 [参考資料]

【成績評価の方法】 毎回のロールプレイ (50%) と学期末試験 (50%) により総合的に評価する。

【再試験の有無】 有

【受講者へのメッセージ】 出席を重視するので, 毎回出席すること。またテキストを忘れたら減点するので注意すること。

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=221215>

【連絡先(オフィスアワー・研究室・Eメールアドレス)】

⇒ 宮田 (D304, 088-656-9866, miyata@cue.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 火曜日16時10分~17時30分)

English

Communicative English

(工((建A-2)2年))

Masanori Miyata · ASSOCIATE PROFESSOR / CENTER FOR UNIVERSITY EXTENSION

2 units 後期 火 1・2

(平成19年度以前の授業科目:『発信型英語』) (平成16年度以前(医保は17年度以前)の授業科目:『英語(2)』)

Target) 語学研修や観光旅行でイギリス, アメリカ, カナダなどの英語圏を訪れる際, 現地の日常生活の色々な場面で使われる表現を適切な英語を用いて表現できるようになることを目的とする.

Outline) アメリカやカナダで放送された ESL (English as a Second language) 番組から精選された15のスキットをビデオで観る. それから先ずリスニングの練習をし, その後各スキットの場面で使われている重要表現を確認する. 最後に友達同士3, 4人でそのスキットをロールプレイして英語で演じる.

Keyword) *Everyday English, Role-Played Skit*

Fundamental Lecture) [先行科目]

Relational Lecture) [関連科目]

Goal)

1. 英語のテレビ放送のスキットの内容を聴き取ることが出来る.
2. スキットの会話の中の重要表現を覚える.
3. スキットを友達とロールプレイして演じることができる.

Schedule)

1. Introduction
2. Lesson 1: Greetings
3. Lesson 2: Asking for Directions
4. Lesson 3: Requesting Information
5. Lesson 4: Making Things Clear
6. Lesson 5: Explaining What's Wrong
7. Lesson 6: Going for a Job Interview
8. Lesson 7: Making a Phone Call
9. Lesson 8: Reporting Emergencies (1)
10. Lesson 9: Reporting Emergencies (2)
11. Lesson 10: Getting Invited to a Party
12. Lesson 11: Making Complaints
13. Lesson 12: Asking a Favor
14. Lesson 13: Comparing Things
15. Term Test

16. Reflection

Textbook) Daily English; by Sakae Onoda & Noel Gossman (Kinseido, 2001, ¥2200)

Reference) [参考資料]

Evaluation Criteria) 毎回のロールプレイ (50%) と学期末試験 (50%) により総合的に評価する.

Re-evaluation) 有

Message) 出席を重視するので, 毎回出席すること. またテキストを忘れたら減点するので注意すること.

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=221215>

Contact (Office-Hour, Room, E-mail)

⇒ Miyata (D304, +81-88-656-9866, miyata@cue.tokushima-u.ac.jp) MAIL
(Office Hour: Tuesday 16:10~ 17:30)